



【参加国】58の国と地域 【参加作品数】316作品

「日本賞」一次審査通過作品

コンテンツ部門・5カテゴリー

①幼児向け(0歳～6歳)	12作品
②児童向け(6歳～12歳)	10作品
③青少年向け(12歳～17歳)	12作品
④一般向け(18歳以上)	11作品
⑤クリエイティブ・フロンティア	6作品

企画部門

アフガニスタン、バングラデシュ、コロンビア、ルワンダ、南アフリカの5企画

詳細は <http://www.nhk.or.jp/jp-prize/>

主な日程 [開催期間:10月26日(水)～11月2日(水)]

10月26日	開会レセプション、審査
10月26日～31日	審査、一次審査通過作品上映会
11月1日	ワークショップ IPCEM(イプセム・教育コンテンツ世界制作者会議)
11月2日	授賞式

授賞式 司会 国分太一

タレント・ミュージシャン。
NHK紅白歌合戦には、TOKIOで22回連続出場中。
また、日本賞のグランプリ作品、優秀作品を紹介する
特集番組のMCを、2011年から務めている。



会期中の主なイベント

【ピクサーアニメーションによる教育コンテンツを紹介】 11月1日
ファインディング・ニモやトイ・ストーリーでおなじみ、
ピクサーの制作チームからジョシュア・ホーランダ氏が来日。
教育コンテンツ世界制作者会議(IPCEM)のセッションに参加します。
ピクサー・アニメとカーン・アカデミーが手掛けた教育コンテンツ
「Pixar in a Box」について報告。



【スペシャル・ワークショップ】 11月1日
世界各国で教育コンテンツ開発の支援、指導をしてきた元セサミワークショップのプロ
デューサー、シャーロット・コールさんが来日。番組制作のノウハウを、参加するメディア
関係者たちと一緒に考えます。

放送センター外のイベント

【プレイベント】 10月6日 立教大学
「日本賞」に出品された作品を題材に、国際的な課題の現状に触れ、国際理解を深める
ことを目的としてシンポジウムを開催します。
今回は、世界各地で大きな問題となっている「難民」をテーマに、メディアがどのように
関わっていけるのかを専門家たちが議論します。